

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月3日
東

上場会社名 株式会社メディカルシステムネットワーク 上場取引所
 コード番号 4350 URL <https://www.msnw.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田尻 稲雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 平島 英治 (TEL) 011-613-7750
 経理財務本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	81,878	2.5	4,525	△12.5	2,344	△23.5	2,499	△28.3	1,195	△44.3
2022年3月期第3四半期	79,868	2.2	5,173	5.1	3,063	10.5	3,485	25.8	2,144	6.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,235百万円(△42.7%) 2022年3月期第3四半期 2,155百万円(7.6%)

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	39.60	—
2022年3月期第3四半期	71.08	—

(注) 1株当たり四半期純利益の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	68,520	14,125	20.6	466.99
2022年3月期	62,941	13,286	21.1	439.67

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 14,093百万円 2022年3月期 13,268百万円

(注) 自己資本、自己資本比率及び1株当たり純資産の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
2023年3月期	—	6.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	110,000	3.1	6,200	△7.6	3,500	△9.1	3,700	△14.2	1,750	△26.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	30,642,600株	2022年3月期	30,642,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	464,055株	2022年3月期	464,055株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	30,178,545株	2022年3月期3Q	30,168,454株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については【添付資料】P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 四半期連結貸借対照表には、役員株式給付信託(BBT)の信託財産として、株式給付信託が保有する当社株式が「自己株式」として計上されております。また、1株当たり四半期純利益、自己資本比率、1株当たり純資産、自己資本、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定については、上記の役員株式給付信託(BBT)の当社株式を自己株式に含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は、地域薬局部門において2022年4月に実施された薬価・調剤報酬改定の影響により処方箋単価は下落したものの、新規出店やM&Aにより取得した店舗の業績が寄与したことや、医薬品ネットワーク部門において新規加盟件数が堅調に推移したこと等により、売上高は81,878百万円（前年同期比2.5%増）となりました。利益面につきましては、地域薬局部門において薬価・調剤報酬改定が実施されたことや対人業務強化に伴う労務費の増加等により、営業利益2,344百万円（同23.5%減）、経常利益2,499百万円（同28.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,195百万円（同44.3%減）となりました。なお、前年同期比では増収減益となりましたが、概ね計画通り推移しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

①地域薬局ネットワーク事業

本事業に関しましては、医薬品サプライチェーン全体に対する価値の提供を推進することを目指し、地域薬局の運営、医薬品ネットワークによる薬局等の経営支援、医薬品の製造販売及びLINEを活用したかかりつけ薬局化支援を行っております。

地域薬局部門におきましては、薬価・調剤報酬改定の影響により処方箋単価は下落したものの、新規出店やM&Aにより取得した店舗の業績が寄与したこと等により、処方箋応需枚数は増加いたしました。また、当第3四半期連結累計期間において、モール型店舗5店舗を含む、地域薬局6店舗を新規出店するとともに、株式取得により1社1店舗を取得いたしました。2022年12月31日現在の店舗数は、地域薬局429店舗、ケアプランセンター1店舗、コスメ・ドラッグストア9店舗となりました。

医薬品ネットワーク部門におきましては、調剤報酬改定の影響等により薬剤師が対人業務へ一層注力する中、薬局での業務効率化ニーズが高まり、新規加盟件数は堅調に推移いたしました。2022年12月31日現在の医薬品ネットワーク加盟件数は、当社グループ429件、一般加盟店8,126件の合計8,555件（前連結会計年度末比1,154件増）となりました。

医薬品製造販売部門におきましては、2022年12月31日現在、44成分90品目を販売しております。取引店舗数は、当社グループ薬局のほか、一般加盟店2,042店舗（前連結会計年度末比344店増）となりました。

デジタルシフト部門におきましては、導入・受注店舗数は順調に推移し、2022年12月31日現在の導入店舗数は、3,071店舗（前連結会計年度末比2,160店増）、受注店舗数は3,381店舗（同1,738店増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は78,078百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益4,299百万円（同7.8%減）となりました。

②賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、不動産賃貸収入は概ね堅調に推移したものの、建築業務において工事完了による売上計上時期が第4四半期に集中する影響等により、売上高は2,448百万円（前年同期比0.5%減）となりました。利益面につきましては、営業強化のための増員等により労務費が増加したこと、また、サービス付き高齢者向け住宅「ウィステリア」や医師開業支援において開業を予定している医師向けに積極的な販売促進活動を行ったことによる広告宣伝費の増加等により、営業損失97百万円（前年同期は営業利益53百万円）となりました。

なお、サービス付き高齢者向け住宅の2022年12月31日現在の入居状況につきましては、「ウィステリア千里中央」は全82戸中59戸（入居率72.0%）、「ウィステリア南1条」は全116戸中83戸（入居率71.6%）、全5棟の入居率は81.8%となりました。引き続き、期末目標の入居率90%達成に向け、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら積極的な営業活動を行ってまいります。

③給食事業

本事業に関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響による給食提供数の減少や、仕入価格上昇に伴う売上総利益率の低下等により、売上高は1,701百万円（前年同期比2.9%減）、営業損失55百万円（前年同期は営業利益7百万円）となりました。

④その他事業

本事業に関しましては、訪問看護事業を行っており、売上高は228百万円（前年同期比1.5%減）、営業損失14百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は68,520百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,579百万円増加しました。流動資産は22,893百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,192百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金並びに商品が増加したことによるものであります。固定資産は45,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,386百万円の増加となりました。主な要因は、有形固定資産のその他（純額）に含まれるリース資産（純額）が増加したことによるものであります。

負債の部は54,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,740百万円の増加となりました。流動負債は24,341百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,905百万円の増加となりました。主な要因は、買掛金及び短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は30,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ834百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金が増加したものの、固定負債のその他に含まれるリース債務が増加したことによるものであります。

また、純資産の部においては、14,125百万円となり、前連結会計年度末に比べ838百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月6日に公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,201	9,594
売掛金	2,891	3,866
債権売却未収入金	954	1,017
調剤報酬等購入債権	443	448
商品	4,765	5,936
原材料	14	20
仕掛品	1	2
貯蔵品	76	82
その他	1,355	1,936
貸倒引当金	△3	△10
流動資産合計	18,701	22,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,408	13,280
土地	8,847	8,929
建設仮勘定	202	138
その他(純額)	2,165	4,490
有形固定資産合計	24,624	26,838
無形固定資産		
のれん	12,254	11,527
ソフトウェア	401	519
その他	111	104
無形固定資産合計	12,767	12,151
投資その他の資産		
投資有価証券	155	164
差入保証金	3,052	3,119
繰延税金資産	2,894	2,566
その他	764	806
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	6,848	6,636
固定資産合計	44,239	45,626
資産合計	62,941	68,520

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,680	12,300
短期借入金	1,016	2,664
1年内返済予定の長期借入金	4,756	4,871
未払法人税等	617	104
賞与引当金	1,528	807
役員賞与引当金	38	12
その他	2,798	3,581
流動負債合計	20,435	24,341
固定負債		
長期借入金	22,891	20,441
役員退職慰労引当金	600	630
役員株式給付引当金	210	235
退職給付に係る負債	3,752	3,998
その他	1,763	4,747
固定負債合計	29,219	30,053
負債合計	49,654	54,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,128	2,128
資本剰余金	1,182	1,182
利益剰余金	10,393	11,190
自己株式	△326	△326
株主資本合計	13,377	14,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	△1
繰延ヘッジ損益	0	7
退職給付に係る調整累計額	△102	△87
その他の包括利益累計額合計	△108	△81
非支配株主持分	17	32
純資産合計	13,286	14,125
負債純資産合計	62,941	68,520

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	79,868	81,878
売上原価	46,425	47,591
売上総利益	33,443	34,287
販売費及び一般管理費	30,379	31,942
営業利益	3,063	2,344
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	5
業務受託料	58	59
設備賃貸料	80	101
補助金収入	398	197
雑収入	102	59
営業外収益合計	647	423
営業外費用		
債権売却損	41	41
支払利息	140	206
雑損失	44	20
営業外費用合計	225	268
経常利益	3,485	2,499
特別利益		
固定資産売却益	3	7
投資有価証券売却益	112	-
事業譲渡益	16	-
特別利益合計	131	7
特別損失		
固定資産売却損	12	0
固定資産除却損	14	51
減損損失	90	18
店舗閉鎖損失	16	14
その他	2	18
特別損失合計	136	103
税金等調整前四半期純利益	3,480	2,403
法人税、住民税及び事業税	821	855
法人税等調整額	532	338
法人税等合計	1,353	1,194
四半期純利益	2,126	1,209
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,144	1,195

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,126	1,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	5
繰延ヘッジ損益	2	6
退職給付に係る調整額	11	14
その他の包括利益合計	29	26
四半期包括利益	2,155	1,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,173	1,221
非支配株主に係る四半期包括利益	△18	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	75,985	1,897	1,752	232	79,868	—	79,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	563	—	—	563	△563	—
計	75,986	2,461	1,752	232	80,432	△563	79,868
セグメント利益 又は損失(△)	4,663	53	7	△10	4,713	△1,650	3,063

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,650百万円には、セグメント間取引消去182百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,832百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	78,061	1,886	1,700	228	81,878	—	81,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	562	0	—	579	△579	—
計	78,078	2,448	1,701	228	82,457	△579	81,878
セグメント利益 又は損失(△)	4,299	△97	△55	△14	4,131	△1,787	2,344

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,787百万円には、セグメント間取引消去235百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,022百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。